龍谷の森での学生の研究活動

龍谷大学理工学部教授　里山学研究センター副センター長
宮浦　富保

龍谷の森とその周辺域では、学生による研究活動はもちろん、教員や里山学研究センター研究員の研究が精力的に行われている。この稿では学生研究に焦点を当て、特に卒業研究と修士研究のタイトルのみ取りまとめて、龍谷の森とその周辺での学生の研究活動の記録とする。

2015年度における龍谷の森での卒業研究のタイトルを表１に示す。全部で18件の卒業研究が行われた。なお、龍谷の森を利用した卒業研究は、環境ソリューション工学科以外の学生も行っている可能性があるが、本報告では実施状況が把握されている環境ソリューション工学科の卒業研究のみをとりまとめた。龍谷の森を利用した卒業研究は2006年度から行われており、例年10～20件であり、これまでの合計は179件に達する（表３）。

2014年度にまとめられた龍谷の森での修士研究のタイトルを表２に示す。修士課程における研究は複数年にわたって行われるが、ここでは2015年度に論文提出が行われた研究のタイトルを示す。龍谷の森を利用した修士研究は2009年度から報告されており、例年２～６件であり、これまでの合計は25件に達する（表３）。

表１．2015年度に龍谷の森とその周辺で行われた卒業研究

研究室	氏名	論文タイトル
市川	坪井　歩美	龍谷の森におけるオゾンO_3の生成・消滅
市川	鳥羽　一至	瀬田丘陵における微小粒子状物質PM2.5に及ぼす火山噴煙の影響
市川	正木　綾乃	瀬田丘陵におけるO_3・NO_2濃度の水平分布
市川	谷　亜弥	計算流体力学CFDモデルによる樹木列周辺の流れ場の解析
近藤	金田　壮弘	アリのコロニーはどのように空間分布するか：空間スケールを考慮した解析
水原	福家実津季	触媒を用いた薪ストーブ燃焼ガスのクリーン化
水原	松浦　英介	薪ストーブ燃焼灰の重金属類生成機構に関する研究
宮浦	石井　晃平	ヒサカキの呼吸量の温度依存性と光環境
宮浦	大嶋　祐輝	ヒノキ人工林に生育するクロバイ地上部の節足動物
宮浦	大森　惇司	森林土壌における有機物分解速度と土壌呼吸速度の関係
宮浦	國松　広伸	イヌツゲメタマフシの増減に影響する環境要因について
宮浦	倉橋　利帆	アカメガシワにおける花外蜜腺の有無によるフェノール性物質濃度の変化について
宮浦	登山　直人	コナラ二次林における土壌からの二酸化炭素放出量の垂直的変化
宮浦	福西　郁哉	クロバイとヒサカキの枯死量と個体サイズの関係
遊磨	竹村　嘉礼	地表性甲虫の多様性に対する里山の部分的伐採の影響
横田	東　勇輝	止水域に堆積したリター内のフェノール成分含有量と生物分解の関係について
横田	伊藤　大輔	林内の光環境がササクサの成長や分布に与える影響
Lei	福田　悦之	アカメガシワ（*Mallotus japonicus*）における光合成速度とアリを介した食害度の変化

表２．2015年度に龍谷の森とその周辺で行われた修士研究

研究室	氏名	論文タイトル
菊池	木村　秀平	森林の元素循環におけるシロアリの役割 ―龍谷の森、宇治、および鹿児島を対象として―
横田	小海　佑樹	孤立林サイズの異なる都市近郊林におけるアカネズミの遺伝的多様性
横田	西澤あすか	格子点法を用いて評価したナラ枯れ前後の植生変化

表３．2006年度以降の卒業研究および修士研究の件数

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	累計
卒業研究件数	10	20	16	10	16	18	17	20	34	18	179
修士研究件数				2	5	2	5	6	2	3	25